2023.1.19（木）於　京都大学百周年時計台記念館　国際交流ホール３

産学協働イノベーション人材育成シンポジウム 2022 ご参加者アンケート

このたびは、産学協働イノベーション人材育成シンポジウム 2022 にご参加頂き、誠に有難うございます。今後、弊協議会事業をより良くするために、ご参加頂いた皆様からのご意見をお聞かせいただきたく、アンケートへのご協力を宜しくお願いします。

オンラインの
回答はこちら

ご所属：　　お名前：

１．本シンポジウムをどこでお知りになりましたか。

□ 協議会からの案内、DM　　□ 協議会ウェブサイト　　□ 省庁・各団体からの案内
□ 参加大学・参加企業からの案内　　□その他（　　）

２．本日のシンポジウムについて、率直なご意見を 5 段階評価でお聞かせください。

① C―ENGINE の取組みについて
理解できた　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　わからなかった

② 基調講演「総合知を科学技術・イノベーション創出の視点で考える」
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

③ 講演「総合知としての ELSI 共創研究」
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

④ 講演「電子計算機と foresight insight～ENIAC から量子コンピュータへ～」
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

⑤ 講演「総合知による社会課題の解決と『まち』の高度化・多様化」
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

⑥ インターンシップ参加学生体験発表
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

⑦ パネル討論「総合知をさらに有効に創出するには」
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

⑧ シンポジウム全体
満足　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　不満

３．研究インターンシップ活用のメリットとして何を重視されますか(複数回答可)。

□産学での学生教育・人材育成　□社内／研究室内の活性化　□オープンイノベーション
□採用・就職につながる□産学の関係づくり・関係の深化
□その他（　　）

４．オープンイノベーションの取り組みとして研究インターンシップを活用したいと思われますか。

そう思う　5□----------4□----------3□----------2□----------1□　そうは思わない

５．ご講演資料を希望される方は下記にチェックを入れて下さい。
（ご希望の場合、上記お名前の記入のご確認をお願いいたします）

□希望する

アンケートは以上です。お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございます。今後とも、弊協議会事業へのご理解・ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。